

「いま」が共有できる便利ツール



I Seek You

# 話題のICQを使ってみよう

去年の秋頃から、あちこちの個人ホームページで急に「ICQ」という言葉を目にするようになった。ICQ……なんだそれ？ やがてこの意味ありげな3文字が、「I Seek You」の略であることがわかった。ICQは、インターネットのコミュニケーションを変えるかもしれない。そう考えてしまうほどユニークでインパクトの強いソフトウェアだ。

藪 暁彦 *yabu akihiko*

<http://www.icq.com/>

## ICQでインターネットライフが変わる!

昨年夏、世界中がマイクロソフト社とネットスケープ社のブラウザ戦争に気を取られていた。その不意をついて登場したICQはあれよあれよという間にユーザーを増やし、1月末には700万人を突破した。ブラウザ戦争はエレクトロニックコマースやインターネット電話、Javaなどを巻き込んで、ビジネスの表舞台で繰り広げられている。ICQは、そこから少し離れたところで個人ユーザーの注目を集めたのだ。

電子メールとチャットを足して2で割るとICQになる!?

一度利用すると二度と手放せなくなる電子メールだが、「今すぐ確認したい」というときは使えない。いつ返事が来るかわからないからだ。かといって電話をかけるほどでもないし……。ICQは、まさしくそんなときに役に立つ。相手がインターネットに接続しているかどうかをチェ

ックでき、接続していることがわかったら即、メッセージを送れるのだ。よっぽど相手に嫌われない限り、すぐに返事も来るはずだ。

「今ちょうど探していたんだ」ということで「I Seek You」、それを略してICQ。この名前もなかなかユニークだ。文字を使ったリアルタイムの会話という点ではチャットに似ている。だがチャットは話し相手が不特定多数なのに対して、ICQは用事のある相手と一対一で話ができる。それが大きな違いだ。

UNIXは、以前からICQとよく似た機能を備えている。「who」コマンドでネットワークにログオンしているユーザーを確認でき、「talk」

コマンドでログオンしているユーザーにリアルタイムでメッセージを送ることができるのだ。こうした機能を1つのソフトにまとめて、インターネットに対応させたのがICQだ。決して斬新で画期的というわけではないが、ICQのようなソフトを求めていたインターネット利用者はたくさんいたに違いない。

ウィンドウ上段には、サーバーに接続中のユーザーが青い文字で表示される。ユーザー名左のアイコンはユーザーの状態を表し、メッセージが届くとメッセージアイコンに変わる。メッセージを送ったり受け取ったメッセージを読んだりするときは、ユーザー名を左クリック。メニューから該当する項目を選べばいい。

接続していないユーザーは、下段に青い文字で表示される。ログオンしていないときにメッセージが送られてくることもある。その場合は、ユーザー名の左側にメッセージアイコンが表示される。





## 仕事にも使えそうな ICQの付加機能

ICQにはウィンドウズ版とマック版、Java版がある。すべてのマシンやOSに対応しているわけではないが、パソコンユーザーが相手ならマシン環境に関係なくほぼ誰でもリアルタイムで話ができる。これもICQのメリットの1つだ。しかし、ICQの機能はメッセージ交換だけではない。チャット、ファイル送信、メール送信、メール着信通知、ネットワークゲームやインターネット電話との連動など、実にさまざまな機能を持っている。うまく使えば仕事の打ち合わせやミーティングにも使えそうだ。

ただし、現在のところバージョンによってだいぶ機能差がある。例えばパワーマック版は日本語でチャットができるが、68Kマック版には

チャット機能がない。ウィンドウズ版にはチャット機能があるが日本語を表示できない。また、インターネット電話やネットワークゲームとの連動機能、メッセージを残す機能はウィンドウズ版にしかない。メッセージ交換以外の機能を使うときには注意が必要だ。

電子メールで時間を束縛されない通信の便利さを知り、WWWでは世界中から情報を収集するダイナミックさを経験し、同時に情報発信の楽しさ、難しさを知った。そしてインターネットを利用したコミュニケーションの新しい楽しみ方、役立て方を教えてくれたのがICQだったのだ。

## ICQはこんなに便利で役に立つ!

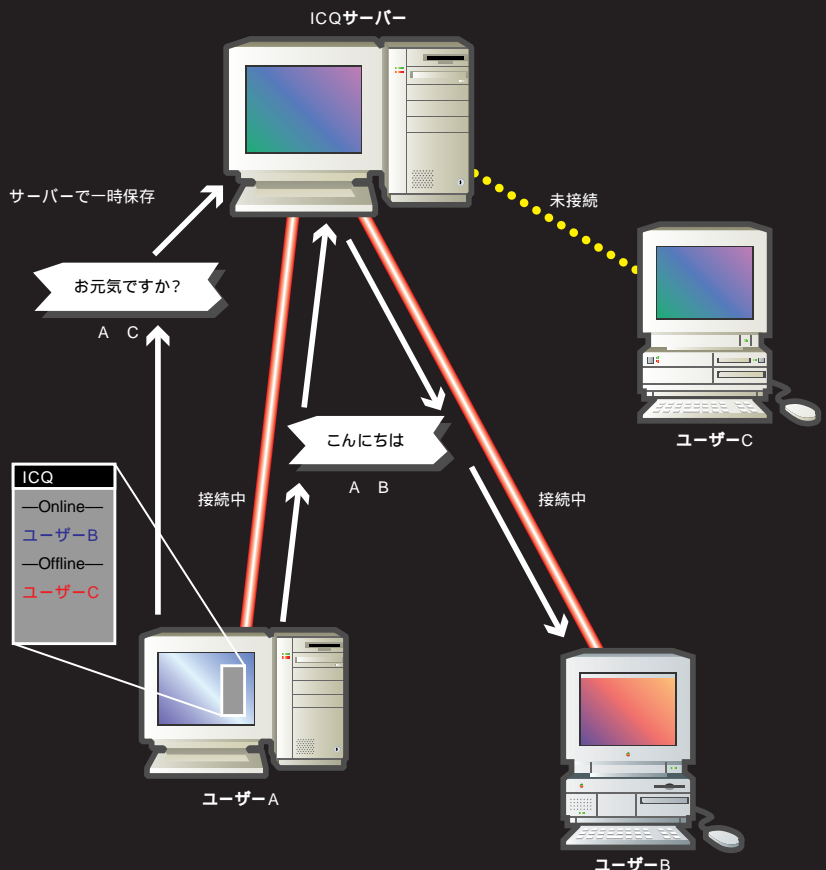
- リアルタイムで特定の相手と会話ができる
- 相手が接続しているかどうかを確認できる
- 接続していない相手に伝言を残せる
- ファイルのやり取りができる
- URLを簡単に伝えられる
- 着信メールを通知してくれる
- メールソフト代わりに使える
- チャットができる
- ネットワークゲームと連係動作ができる
- インターネット電話と連係動作ができる
- メッセージの履歴を残せる

## ICQの仕組み

ICQの基本的な仕組みは、WWWや電子メールなど通常のインターネットアプリケーションと同じだ。ユーザーはICQクライアントソフトを使ってICQサーバーに接続し、サーバーを介して相手とメッセージを交換する。

ICQでは会話相手を登録し、メインウィンドウに登録ユーザーが一覧表示される。これを「コンタクトリスト」という。このときサーバーに接続中のユーザーは青い文字、接続していないユーザーは赤い文字で表示される。ICQクライアントは、サーバーに接続すると登録ユーザーが接続中かどうかをチェックして、表示色を変えるのだ。

クライアントがメッセージを送ると、サーバーは送り先が接続中の場合はメッセージを渡し、接続していない場合は一時保管。送り先の相手がログインしたときに、保管していたメッセージを渡す。現在、公開されているICQサーバーは2つあって互いに接続されているので、どちらに接続しても同じように誰とでもメッセージが交換できるようになっている。



## ICQを入手しよう!

ICQは米国Mirabilis社が開発したソフトで、同社のICQホームページから無料でダウンロードできる。記事中ではウィンドウズ95/NT版を取り上げているが、そのほかウィンドウズ3.1版、ウィンドウズNT3.5版、パワーマック版、68Kマック版とJava版がある。Java版のインストールにはJDK 1.1.3以降（LinuxはJDK

1.1.4以上）が必要だ。

ウィンドウズ95/NT版のダウンロードファイルには、「mfc42.dll付き（約1.6Mバイト）」と「なし（約1.0Mバイト）」の2種類がある。ほとんどのマシンには、このファイルがすでにインストールされているはずだから「なし」をダウンロードすればいい。心配ならば「Windows」

フォルダーの中にある「System」フォルダーに、mfc42.dllが入っているかどうかを確認しておこう。

**米国Mirabilis社**

URL <http://www.icq.com/>

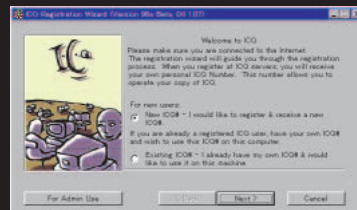
## ICQをインストールしよう!

ICQはインストール後、ユーザー登録のためにサーバーに接続する。インストールを始める前にインターネットに接続しておこう。

インストールが終わると、続いてユーザー登録が始まる。氏名や電子メールアドレス、ニックネームなどを聞かれるがすべてに答える必要はない。プライバシーを考えたら詳細な個人情報を入力するのは考えものだ。それに、設定はあとからでも変更できる。

パスワードを設定するとユーザー登録が始まり、登録が終わるとICQナンバーが発行される。このICQナンバーとは自分自身を表すものであり、あとで解説するICQを使っている仲間を探すときや登録するときに使われる。最近では電子メールの署名やホームページに書き込んでいる人も多いようだ。最後にメールサーバーを入力すればセッティングはすべて完了。ICQが自動的に立ち上がり、ICQシステムから歓迎のメッセージが届く。

## ユーザー登録の手順



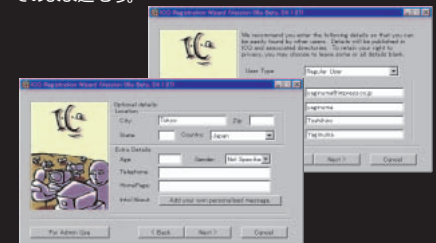
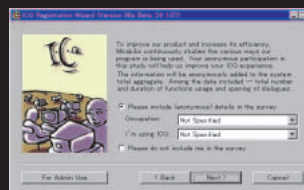
**1** ダウンロードしたファイルをダブルクリックするとインストール開始。インストール先などをたずねられる。インストールが終わると、ユーザー登録が始まる。最初はICQ登録をしたことがあるかどうかの質問だ。初めてなら「New ICQ」を選ぼう。

**2** 接続形態に合わせて、LAN接続かモデム接続を選ぶ。

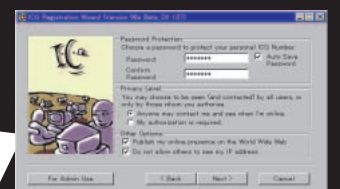


**3** ユーザータイプは「Regular User」でOK。電子メールアドレスや氏名は全部入力する必要はないが、ニックネームだけは入力しておこう。次のウィンドウでは住んでいる場所とその他の個人情報聞かれるが、これもすべて答える必要はない。そのまま進もう。

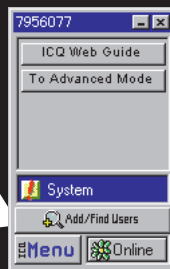
**4** このウィンドウはちょっとしたアンケート。入力するかしないかは自由。



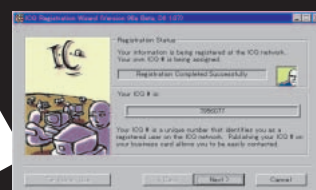
**5** 「Password Protection」はICQを起動したときにパスワードを入力するかどうかの設定。「Privacy Level」は、ほかの人が自分をICQに登録しようとしたときに、自由に登録させるか許可を必要とするかの設定。「Other Options」は、IPアドレスを公開するかどうかといったことを設定する。なるべくチェックを付けておいたほうがいいだろう。これらの設定はあとからでも変更できる。



**8** すべてのセッティングが完了するとICQが自動的に起動して、同時にICQシステムからメッセージが届く。



**9** 接続形態にモデム接続を選んだ場合、タスクバーのトレイに「NetDetect Agent」がインストールされる。NetDetect Agentはシステム起動時に自動的に起動してモデムを監視。インターネットに接続するとICQを起動してくれる。NetDetect Agentを自動起動しないように設定を変更することもできる。



**6** 登録が終わるとICQナンバーが通知される。

**7** 自分が契約しているプロバイダーのSMTPサーバーの名前を入力する。



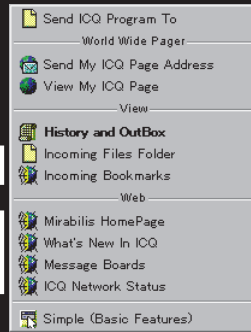
# 使いこなすならAdvancedモード!

ICQを使いこなすならすべての機能が使える「Advancedモード」にしよう。インターネット電話やネットワークゲームに誘えたり、簡単にファイルのやりとりができたりと、「Simpleモ

ード」にはない楽しみが盛りだくさん。セキュリティやプライバシーの設定もでき、安心してICQを使える。このページを読んでICQを極めよう!

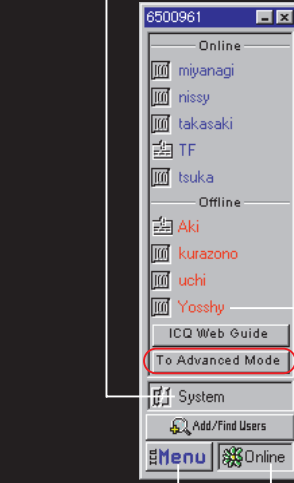
## 1 ICQサーバーとのやり取りに関するメニューだ。

- A WWWブラウザで登録時にICQのサーバーに作られた自分のウェブページにアクセスする。
- B サーバーからのメッセージや未送信のメッセージなどが見られる。(Advanced Mode)
- C 相手から送られてきたファイルとURLを見る。(Advanced Mode)
- D WWWブラウザでICQのホームページにアクセスして、最新のニュースを見たりICQサーバーの混み具合をチェックしたりできる。



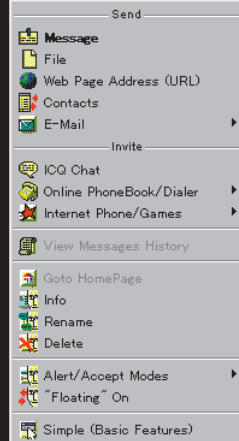
## 2 登録したい相手を探したり、セキュリティの設定をしたり、環境設定をしたりするメニュー。

- A 特定の相手を登録したり、登録相手を探したりする。(Advanced Mode)
- B 登録したい相手の電子メールアドレスを入力しておく、将来この相手がICQ使い始めたときに知らせてくれる。「Email the program to user」をチェックしておく、相手に「ICQを使いましょう」という内容の英語のメールが自動的に送られてしまうので、ここのチェックははずしておいたほうが良いだろう。
- C 住所録。ICQに登録している相手の情報が見られる。(Advanced Mode)
- D 操作モードを切り替える。
- E メニューにはたくさんの項目が表示されるが、覚えておきたいのは次の2つ。(Advanced Mode)
  - ・View / Change My Details: インストール時に登録した自分の情報を見たり変更したりできる。
  - ・Unregister Existing User: 登録したICQナンバーをサーバーから抹消する。
- F セキュリティーとプライバシーの設定をする。(Advanced Mode)
- G 環境の設定をする。
- H ICQを使ううえで便利な設定の項目がある。覚えておきたいのは次の5つ。(Advanced Mode)
  - ・Play Sounds: イベントを受信したとき、さまざまな音が鳴る。
  - ・Contact List Popup: ICQを最小化していたときにイベントを受信すると自動的にICQのウィンドウが表示される。
  - ・Response Dialog Popup: イベントを受信したとき、アイコンを点滅させる代わりにイベントのダイアログを開く。
  - ・Auto Minimize: ICQのウィンドウを自動的に最小化する。「Contact List Popup」と併用すると便利。
  - ・Always On Top: ICQのウィンドウを常に一番手前に表示させる。
- I ICQを終了させる。ただしICQ Detectは終了しない。このメニューは、モデム接続のときだけしか表示されない。(Advanced Mode)
- J ICQもICQ Detectも終了させる。



## 3 メッセージなど、相手にさまざまなイベントを送るためのメニュー。初期設定では、ニックネームを左クリックすると表示される。

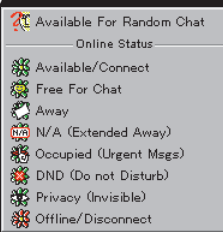
- A メッセージを送る。オフラインの相手にもメッセージは送れる。
- B ファイルを送る。画像や地図、ソフトウェアを送ったりするのに便利。(Advanced Mode)
- C WWWブラウザで表示しているウェブページのURLを送る。
- D コンタクトリスト(通信相手を登録したリスト)の仲間の情報を送る。複数人選択して送ることも可能。(Advanced Mode)
- E 相手の電子メールアドレスが登録されていれば、標準に設定されている電子メールソフトでメールを送る。(Advanced Mode)
- F オンラインの相手とチャットをする。
- G 「10分後に電話します」とオンラインの相手に通常の電話をかける前に通知したり、相手に電話をかけてくれるよう依頼のメッセージを送る。(Advanced Mode)
- H オンラインの相手をインターネット電話やネットワークゲームに誘う。(Advanced Mode)
- I 今までにやり取りしたメッセージやURLなどを見ることができる。(Advanced Mode)
- J 相手のウェブページのURLが登録されていれば、そのウェブページにアクセスする。(Advanced Mode)
- K 登録されている相手の個人情報を見ることができる。
- L コンタクトリストに登録されている相手のニックネームを変更する。
- M 相手をコンタクトリストから削除する。
- N 受信音を相手の声にしたり、自分がどんな状態でもメッセージを受け付けられるようにしたりできる。(Advanced Mode)
- O ICQのウィンドウとは別に、独立したウィンドウになる。元に戻すときは「Floating Off」を選ぶ。(Advanced Mode)



ここを押せば「Advancedモード」に変わる!

## 4 相手に見える自分の状態を設定できるメニュー。登録されている相手の状態にも同じことがいえる。

- A チャットの相手を自動的に見つけてくる。知らない相手とチャットしたいときに便利。(Advanced Mode)
- B 緑色のアイコンのときはインターネットに接続(オンライン)していて、どのイベントも受け付けOKの状態。
- C 誰でもいいからチャットしたいときに選ぶ。(Advanced Mode)
- D 席を外して、パソコンの前にはいないという状態。この状態のときに相手がメッセージを送ろうとすると、席を外している理由が表示される。(Advanced Mode)
- E 「Away」よりもさらに長い間、席を外すという状態を示す。(Advanced Mode)
- F 忙しくてメッセージの返事が書けないという状態を示す。(Advanced Mode)
- G 邪魔をしないでくれという状態。このアイコンが表示されている相手にはメッセージは送らないほうが良いだろう。(Advanced Mode)
- H 相手からはインターネットに接続していない状態(オフライン)に見える。(Advanced Mode)
- I インターネットに接続していない(オフライン)状態を示す。





## 仲間を探して登録しよう!

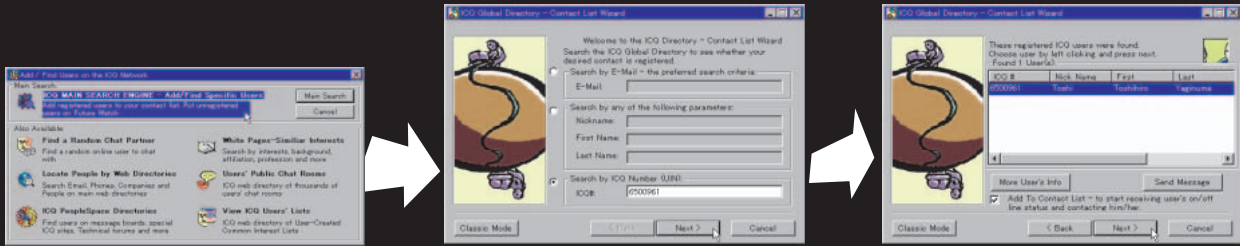
接続してから話し相手を探すチャットと違い、ICQは自分のコンタクトリストに登録した相手としか会話できない。自分から積極的に相手を探さなければ、なんの役に立たないのだ。まずはICQを持っている友人や知人の登録から始めよう。友達を登録すれば、友達も自分を登録してくれる。ここで注意したいのは、中には見知らぬ人に勝手に登録されないように、登録の

許可がある設定にしている友達もいるということだ。そこで今回は、友達の探し方、そしてコンタクトリストに自由に登録できる場合と登録するのに許可がある場合の2通りの説明をする。

ICQを使って新しい友達を作りたいと思ったら、ICQのホワイトページ (<http://web.mirabilis.com/whitepages/search.html>) にアクセスしてみるといい。ホワイトページでは、

趣味や大学の専攻分野、仕事などで話の合いそうな相手を検索できる。英会話の練習も兼ねて英語で話したいと思ったら、チャットセンター (<http://www.icq.com/icqchat>) にアクセスしてみるのもいいだろう。

### 仲間を探す



① 「Add/Find Users」ボタンを押し、開いたウィンドウの「Main Search」ボタンを押す。

② 登録したい相手の情報を入力する。電子メールアドレス、名字、名前、ICQで使っているニックネーム、ICQナンバーのいずれかを入力して「Next」ボタンを押す。ただし、電子メールアドレスや名前を検索すると時間がかかるので、もし分かっているのならICQナンバーで検索しよう。

③ 登録したい相手が見つかったら「Next」ボタンを押す。名字や名前で検索すると複数人見つかることもあるので、そのときは「More User's Info」ボタンを押して本人かどうかを確認することを忘れずに。

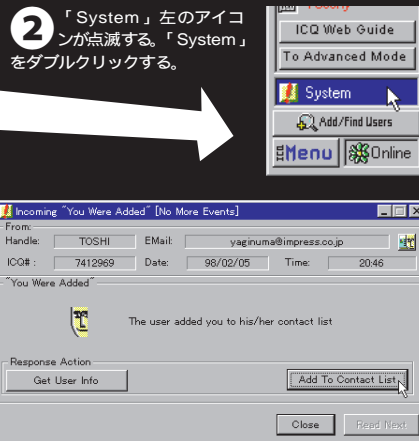
### 自由に登録できる場合

#### 登録する側



① 登録したというメッセージが表示され、コンタクトリストに相手のニックネームが表示される。

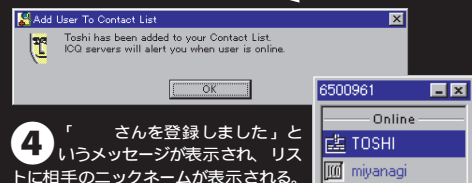
#### 登録される側



② 「System」左のアイコンが点滅する。「System」をダブルクリックする。

③ 「あなたは さんに登録されました」という内容のメッセージが表示される。誰に登録されたか確認する場合は「Get User Info」ボタンを押す。自分もその相手を登録するなら「Add To Contact List」ボタンを押す。

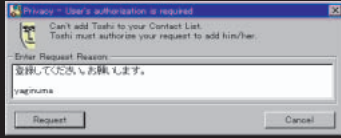
自由に登録して!



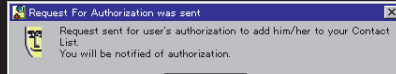
④ 「 さんを登録しました」というメッセージが表示され、リストに相手のニックネームが表示される。

## 登録に許可がいる場合

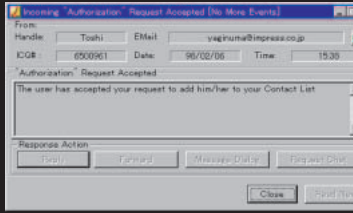
### 登録する側



① 登録願いを書き入れるウィンドウが開くので、メッセージを入力する（日本語でOK）。「Request」ボタンを押す。



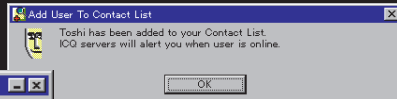
② 登録願いを出したというメッセージが表示され、リストに許可待ちとして追加される。



⑤ 登録する許可がもらえると登録した相手左のアイコンが点滅する。点滅している相手の名前をダブルクリックすると「登録する許可がもらえました」というメッセージが表示される。



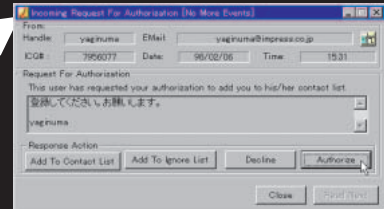
⑥ 「Close」ボタンを押すと「さんを登録しました」というメッセージが表示され、リストに相手のニックネームが追加される。



### 登録される側



③ 「System」左のアイコンが点滅する。「System」をダブルクリックする。



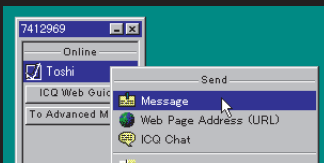
④ 相手が送った許可願いのメッセージが表示される。登録の許可をするなら「Authorize」ボタンを押す。許可しないのなら「Decline」ボタンを押す。

## メッセージを送ろう！

用事のある相手がオンラインかどうかをチェックして、会議スケジュールの確認をする。これもICQの有効な利用法だが、それだけではつまらない。リストに登録した友人がオンラインなのを見つけたら、気軽に「やあ」と声をかけよう。短いメッセージのやり取りは息抜きにもなるし、会話がはずんで金曜の夜に一杯飲もうと話

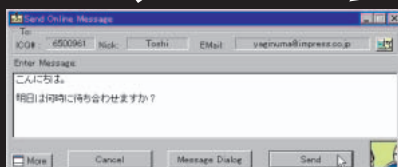
がまとまるかもしれない。でも、くれぐれも互いに仕事の邪魔にならないよう注意しよう。電話と同じで、長ICQは時間と金のムダ。気軽に声をかけられるのがICQの良さなら、気楽に話を切り上げるのがICQのエチケットだ。

### 送る側



① メッセージを送りたい相手を左クリックして、表示されたメニューから「Message」を選ぶ。

② メッセージを書き入れるウィンドウが開いたら、相手に送るメッセージを入力して、「Send」ボタンを押す。

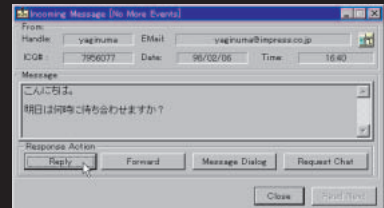


### 送られる側



③ メッセージを送ってきた相手左のアイコンが点滅する。相手の名前をダブルクリックする。

④ 相手が送ってきたメッセージが表示される。返事を書くなら「Reply」ボタンを押す。



## 使い方に応じて「プライバシー」の設定を変えよう!

ユーザー登録をすると、ICQのウェブサイトにてユーザーページが作られる。そこで問題になるのが、個人ページを見るのが善意の人ばかりとは限らないこと。実際に嫌がらせを受けたという話を聞いたこともある。ユーザーからの苦情や要望もあったのだろう。ウィンドウズ95/NT用最新版では、プライバシーを守るための機能が強化されている。

### 「Security & Privacy」の設定

プライバシーの設定は、「Security」ダイアログで行う(「Security」ダイアログは、「Menu」ボタンをクリックし、メニューから「Security & Privacy」を選ぶと表示される)。設定項目は次の4つに分類され、タブを押して設定画面を切り替える。

#### Security (図A)

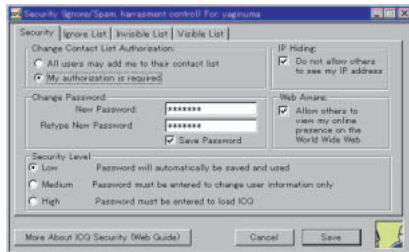
##### ・Change Contact List Authorization

「All users may add me ~」をチェックしておくと、本人の許可なく誰でも自由にコンタクトリストに登録できる。反対に「My authorization ~」をチェックしておけば、本人の許可がないと登録できない。知らない相手から頻りにメッセージが送られてくるのはイヤという人は「My authorization ~」をチェックしておこう。

##### ・IP Hiding

コンピュータのIPアドレスを公開するかどうかを決める。接続のたびにIPアドレスが変わる

図A



ダイヤルアップ接続ならIPアドレスを他人に知られても特に困らない。だが常時接続している場合は、チェックを入れておいたほうがよい。

##### ・Web Aware

ICQユーザーページを見ればそのユーザーがオンラインかどうか分かる。Web Awareはその機能を生かすかどうかの設定だ。「そんなの困る」という場合はチェックをはずそう。

##### Ignore List (図B)

ここでは送られてきたメッセージを受け取るかどうかを設定できる。

##### ・Accept messages only from users ~

チェックするとコンタクトリストにない相手からのメッセージを拒否できる。

##### ・Do not accept Multi-Recipient ~

ICQは、同じメッセージを複数の相手に送ることができる。これをMulti-Recipient Messagesといい、チェックするとこの類のメッセージを拒否できる。Aのプルダウンメニューでは、この設定を全ユーザーに適用するか、コンタクトリストにない相手からのメッセージだけに限定するかを指定する。

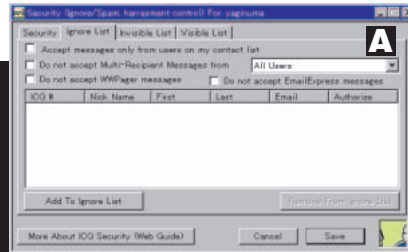
##### ・Do not accept WWPager messages

ユーザーの個人ページにはICQとほぼ同等の機能を持つパネルが付いている。これをWWPagerといい、ここをチェックするとWWPagerからのメッセージを拒否できる。

##### ・Do not accept EmailExpress ~

ユーザーの個人ページにはEmailExpressというメール送信機能も付いている。このメール

図B



を拒否したければチェックを入れておこう。

##### ・入力フィールド

おかしなメールやメッセージが送られてきたら、送り主を登録してしまおう。それ以降、その相手からのメールをすべて拒否できる。

##### Invisible List

たとえオンラインの状態でも、ここに登録した相手にはこちらからなんらかのイベントを送るまではオフラインにしか見えない。

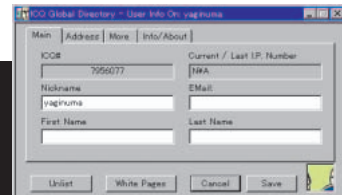
##### Visible List

モードをPrivacyにしておくと、相手にはオフラインのように見える。ところがここに登録した人だけには、オンラインであることが分かるようになる。特定の相手とだけ話をしたいときは、ここにその相手を登録し、モードをPrivacyにするといひ。

### ユーザーページの表示情報を変更する

ユーザーページに表示される情報は、あとからでも変更できる。登録時に何気なく本名を入れてしまったけれどやっぱり本名は隠しておきたい。そんなときは「Menu」ボタンをクリックしてメニューを開き、「View/Change My Details」(図C)を選択しよう。ユーザーページには表示されたダイアログに書き込まれた情報がすべて載る。そこで公開したくない情報を消去。「Save」ボタンをクリックすると、ユーザーページの情報も訂正した情報に書き替わる。

図C



## ICQはビジネスツールを目指す!

去年、ICQを最初にダウンロードしたころ、ウェブサイトにはこれがベータ版でいずれ有料化すると書かれていた。いったいいつ有料化されるのだろうとずっと気になっていたが、最近、有料化の文字がなくなっていることに気がついた。そしてICQクライアントだけでなく、ICQサ

ーバーのベータ版のリリースが始まった。しかも大企業向けのイントラネットICQサーバーだ。

ICQクライアントはホビー指向の強いパーソナルユースのソフトという印象があった。勝手な解釈かもしれないが、開発元のMirabilis社もてっきりその路線を目指しているともと思

っていた。それが一転してイントラネット狙い。Mirabilis社も、ついにインターネットのメインストリームにたどり着いたのかと感慨深いものがある。

最後に一個人ユーザーとして言いたいことがある。バージョンごとの機能のばらつきは、早くなくしてくれ。そして全機能を日本語対応にしてくれ。少なくとも全バージョン、日本語でチャットができるようにしてほしい。

## I See Question!

# ICQの?に答えるQ & A

**Q: 複数の人に同じ内容のメッセージを送ることはできますか?**

A: まず、メッセージを送る中の誰か一人を選んで、いつものようにメッセージ入力ウィンドウを開いてください(図1)。メッセージを入力したら、次はウィンドウ左下の「More」ボタンをクリックします。ウィンドウが下に広がって、右側に「Multiple Recipients」というボタンが見えますね。このボタンをクリックすると、右側にコンタクトリストが表示されます。ここから残りの人たちを選んで、最後に「Send」をクリックします。これで全員に同じメッセージが送られます。

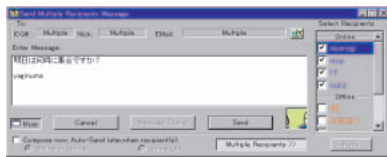


図1 右側に表示されたリストから同時にメッセージを送る相手を選んで「Send」をクリック。

**Q: 最近、いたずらメッセージがよく来るのですが**

A: 相手のICQナンバーが分かっているなら、その相手からのメッセージを受け取らない設定にすることです。なおかつあなたがオンラインであることを、相手から見えないようにするといいでしょう。こうしたことは「Security & Privacy」で設定します。「Menu」をクリックしたら、メニューウィンドウから「Security & Privacy」を選んでください。「Ignore List」(図2)タブをクリックして、下の入力エリアにその相手のICQナンバーを登録します。もし相手のICQナンバーがわからなければ、一番上の「Accept messages only from users ~」をチェックするのもいいでしょう。ただしこうすると、今コンタクトリストに登録してある人からしかメッセージを受けられなくなります。

相手からあなたを見えないようにするには接続中のモードを常に「Privacy」にしておくことです。でも、これだと友達からも見え

ませんから、「Visible List」タブをクリックして、ここに友達のICQナンバーを登録するんです。そうすると登録した人たちだけは、あなたがオンラインであることがわかるわけです。さっきと逆ですね。

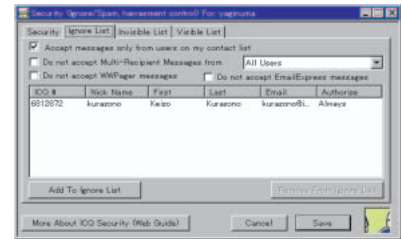


図2 いたずらメッセージの相手分かれば、そのICQナンバーを下の入力エリアに登録する。分からないときは「Accept messages only from users ~」をチェックして、リストに載っている人のメッセージだけを受け取るようにする。

**Q: ICQナンバーを削除したいのですが**

A: まず「Menu」ボタンをクリックして、メニューを開いてください。「Add/Change User Current User」を選ぶとサブメニューが開きますから、一番下の「Unregister Existing User」を選びます。ダイアログ(図3)が表示されたら、そこにICQナンバーとパスワードを入力してください。「Next」を押すと「永久になくなっちゃいますよ!」と警告されますが「Yes」をクリックします。サーバーに接続しました。サーバーからデータを消せば完了です。

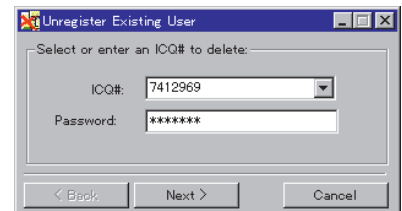


図3 ダイアログに削除したいICQナンバーとパスワードを入力して「Next」をクリック。

ただ今、コンタクトリストの登録者総数 97 名!

ただ今米国留学中!  
遠山真佐美

アメリカで生活するようになって丸2年。私は今、ワシントン州立大学に通っています。

日本から離れて暮らしていると、無性に日本の誰かと話をしたくなることがあります。以前は電子メールがその貴重な手段でしたが、今では取って代わってICQがその役目を果たしています。私にとって、ICQはメールとチャットの中間的な存在です。メールよりも手軽で速く、チャットほど束縛されずに気軽にメッセージを交換できる。そこが気に入

って、メールよりも頻繁に使うようになりました。「ごめんね」や「ありがとう」だけのメッセージでもICQなら気軽に送れるし、使い方によっては日本人だけではなくいろいろな国に友達を作れるでしょう。

強制することもされることもなく、興味の合う友達に出会ってコミュニケーションがとれたら、どんなに楽しいだろう。そう考えて自分の個人サイトにICQリストを作り、そこには97人が登録してあります。



Masami's Japanese ICQ Network  
URL <http://www.wsu.edu:8080/~masamito/icq/jicqlist.html>





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)